

埼玉県 学校図書館協議会



広報
No.90
令和4年2月

埼玉
SLA

◆埼玉県連合教育研究会 令和3年度 研究集録第58号

豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造

埼玉県学校図書館協議会 会長 市川 栄子（鴻巣市立常光小学校長）

各市町村教育委員会をはじめ、各学校及び学校図書館教育に携わる皆様には、日頃より本会の活動にご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。「災害級」という表現がされるような過去最大の感染拡大が続く中、各小中学校におかれましては、感染症拡大防止と学びの保障を両立させ、子供たちに本を手渡すために何ができるか、様々に創意工夫されたことと存じます。各学校での真摯な取組に敬意を表します。

さて、急激に変化する社会状況から、未来を切り拓くための資質・能力の育成を求めた新学習指導要領が、中学校で全面実施されました。受け身型から探求型の学習への転換が強く求められる中、学校図書館は、読書体験・感動体験から豊かな心を育む「読書センター」機能とともに、主体的な学びに必要な「学習センター」機能、探究活動に欠かせない能力を育む「情報センター」機能を生かした学習の拠点として、重要な役割を果たすことが求められています。さらに今年度は、社会のデジタル化とともに、学校においてもGIGAスクール構想によるICT環境整備が進み、教育環境が大きく変化しました。時代の求めに応じた新しい教育の中核となる学校図書館に進化させることが、ますます重要となります。

このような流れを踏まえ、本会では、研究主題に「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造」、副題として「主体的・対話的で深い学びを支える学校図書館教育」を掲げ、コロナ禍での感染防止対策を図り、

形態を変えながらの夏季研究大会、授業研究会、研究員研究協議会等を開催し、研究・研修を深めてまいりました。制限の多い中ではありましたが、今年度も充実した取組ができましたので、紙面にてご報告いたします。また、読書感想文・画コンクールは、コロナ禍前の規模に戻して実施することができました。感想文コンクールには、全県で約30万点の応募がありました。中央審査にあがった作品はいずれもレベルが高く、その中でも優秀な作品12点を全国コンクールに本県の代表として出品しましたところ、「サントリー奨励賞」「全国学校図書館協議会長賞」等を受賞、高い評価をいただきました。校内審査、地区審査、中央審査に携わられた先生方には心から感謝申し上げます。

令和5年度の関東地区学校図書館研究大会(埼玉大会・川越)に向けて、運営委員会を立ち上げ、いよいよ準備が本格化してまいりました。研究テーマ「未来への希望と学びを支える学校図書館」のもと、高等学校図書館教育研究会と協働して実践研究を深めてまいります。関係の皆様におかれては、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本協議会の活動を推進するに当たり、ご指導・ご支援をいただきました全国学校図書館協議会、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、各市町村教育委員会、埼玉県学校図書館協議会OB会、その他お世話になりました多くの皆様にご心から感謝申し上げます。

埼玉県学校図書館研究大会（報告）

令和3年7月26日（月）越谷市中央市民会館にて、埼玉県学校図書館協議会・埼玉県図書館協会の共催による「埼玉県学校図書館研究大会」を、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会の後援を受け開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、分科会のみでの半日開催となった。小・中・高校の司書教諭や学校図書館・公立図書館の関係者が参加し、有意義な大会となった。

分科会A（管理運営）

「学習・情報センターとしての
学校図書館の運営と充実」

《提案発表者》

和光市立新倉小学校	土井 純子	校長
所沢市立小手指小学校	杉山 綾子	教諭
越谷市立富士中学校	櫻井亜莉沙	教諭
熊谷市立大原中学校	荒川 琴美	教諭
上里町立上里中学校	山崎 皓陽	教諭

《主な内容》

- ・ 図書整理のしかたや利用案内の工夫
- ・ 学校図書館、市立・県立図書館との連携
- ・ 図書購入、図書委員会の活性化
- ・ 学習情報センターとしての工夫

《指導助言》 全国SLA 對崎美奈子 氏

「学校図書館ガイドライン」による「図書館資料」とは、「図書資料のほか、雑誌、新聞、視聴覚資料（CD、DVD等）、電子資料（CD-ROM、ネットワーク情報資源＝ネットワークを介して得られる情報コンテンツ等）、ファイル資料、パンフレット、自校独自の資料、模型等の図書以外の資料」を指すことなど、図書資料についての考え方や、学習指導要領【総則】の内容に関して学校図書館との関連やこれから目指すべきことについてご指導いただいた。学校図書館情報ツールとしてのデジタルコンテンツの特性を見極めて活動に生かすことやタブレット端末、紙の資料の特性などそれぞれの活用の仕方について助言をいただいた。



分科会B（利用指導）

「学び方を学ぶ情報活用能力を育成する
指導の在り方」

《提案発表者》

三郷市立彦糸小学校	宮崎正子	校長
越谷市立東中学校	古舘恵里	教諭
本庄市立中央小学校	吉田育代	教諭
川越市立南古谷小学校	森田彩花	教諭
越谷市立大相模中学校	中井美穂	教諭
志木市立宗岡第二小学校	朝倉みどり	教諭

《主な内容》

- ・ 国語科と関連させた授業と司書教諭の役目
- ・ 調べ学習のスキルや情報リテラシーを身につけさせる指導法
- ・ 学校図書館の活用方法
- ・ レファレンスブックの利用指導

《指導助言》 埼玉SLA 福満 芳枝 氏

年度当初の年間指導計画や系統表の確認、見直しをもって意図的に図書館を利用していくことが大切であること、司書教諭、学校司書が連携し、子供の意欲を喚起させることが大切であることなどをご指導いただいた。意図的計画的に情報リテラシーを指導することの大切さを語られた。

分科会C（読書指導）

「生きる力と豊かな心を育む
読書活動の指導の在り方」

《提案発表者》

久喜市立栗橋小学校	伊藤あゆみ	校長
川越市立霞ヶ関西小学校	八代 和泉	教諭
さいたま市立春岡小学校	澤浦 美砂	教諭
吉川市立美南小学校	齋藤 智香	教諭
川越市立南古谷小学校	富澤 浩子	教諭
さいたま市立美園中分教室	塚本 直子	教諭
さいたま市立新和小学校	吉田 紗恵	教諭
さいたま市立与野本町小学校	林 恵子	教諭
鴻巣市立松原小学校	平原 知子	教諭
鴻巣市立川里中学校	石井 麻美	教諭

羽生市立岩瀬小学校	佐久間瑞穂	教諭
狭山市立奥富小学校	小谷野真美	教諭
八潮市立柳之宮小学校	山口美奈子	教諭
戸田市立喜沢小学校	四辻美穂子	教諭
川越市立名細小学校	川合 奈穂	教諭
伊奈町立伊奈中学校	須江光咲季	教諭
熊谷市立成田小学校	清水 洋子	教諭

《主な内容》

- ・「並行読書」「ビブリオバトル」「ブックトーク」の手立てと指導
 - ・新書の提示、魅力ある図書の紹介
 - ・読書環境を整える重要性
 - ・読書月間の取り組み方（スタンプラリーなど）
- 《指導助言》越谷市教育センター 堀山 邦明 氏
 コロナ禍の中でも読書活動を推進している熱意がうれしいこと、たくさんのレポートの中から取り組んでみたいことを見つけ、実践してほしいと助言をいただいた。

また、中学生までの読書習慣の形成が不十分であること、乳幼児から各時期の取組が大事であり、その中で読書習慣が育っていくことをご指導いただいた。

教科書の読書単元で何ができるか考え、授業で読書指導をしていくことの必要性とともに、どんな実践が効果的だったのか、効果の記録をとって検証していくことが望ましいとのご指導をいただいた。



分科会D（地域連携）
 「学校、家庭、地域社会等の連携による読書活動」

《提案発表者》

羽生市立東中学校	中村美由希	教諭
吉川市立北谷小学校	清宮なつみ	教諭
三芳町立藤久保中学校	相原 正	教諭
川口市立安行小学校	高橋 義樹	教頭
三郷市立瑞木小学校	荒木 沙織	教諭
鴻巣市立田間宮小学校	手島 博美	教諭
三郷市立丹後小学校	八代 徳子	教諭

《主な内容》

- ・公共図書館との連携：ブックトーク、読み聞かせ、POPの掲示、団体貸し出し等
 - ・ボランティアとの連携：読み聞かせ、図書館整備等
 - ・民間書店との連携（未来屋書店）…POP掲示
 - ・給食センターとの連携：絵本とメニュー
 - ・家庭との連携：家族読書、家読郵便、親子講座等
- 《指導助言》全国SLA 福田 孝子 氏

今後の社会では、子供たちを社会全体で支えていくことが大切であり、その方法について助言いただいた。公共図書館との連携では、資料提供・団体貸し出し・ブックトークなど地域の図書館に興味をもってもらうことが重要である。タブレット等を活用するとよい。家庭との連携では、読み聞かせの大切さの啓発をする。読み聞かせの有無によって語彙の差ができてしまうので、教員からの働きかけも大切である。ボランティアとの連携では、保険に入ってもらふこと、そして読み聞かせや整備の作業についてよく話し合うこと、研修会、読書会を実施するのもよいことなどをご指導いただいた。

学校図書館授業研究会（報告）

令和3年11月9日（火）熊谷市立大原中学校を会場に授業研究会を開催した。これは、司書教諭・学校図書館教育主任等の資質向上を図るとともに、学校図書館の充実に資することをねらいとしている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を限定しての開催となった。

- 《授業者》司書教諭 荒川 琴美 教諭
- 《単元名》本棚を広げよう
- 《教材名》広がる本の世界（1年1組）
- 《場 所》図書館
- 《指導者》全国SLA参事 山田万紀恵 氏
- 《研究協議会司会・記録》中井 美穂 教諭



短時間・少人数の協議会であったが、「主体的・対話的で深い学び」に果たす学校図書館と読書活動の役割について多様な視点から学ぶことができた。また、GIGA学習の進め方を考える一助となった。

関東地区学校図書館研究大会・茨城大会（報告）

令和3年8月18日（水）から関東地区学校図書館研究大会が開催された。コロナの急拡大を受け、Web開催として24日まで期間を設けてのストリーミング視聴となった。「多様な学びで『生きる力』を育成する学校図書館」を研究主題に掲げた今大会には、埼玉県からも2名の会員が実践発表を行った。

分科会発表（小学校・読書指導）

「本の世界の扉をひらく

～「楽しい」から始まる読書活動～

鴻巣市立赤見台第二小学校 分須美智子 教諭

自ら本を手にとって楽しく読み進めている児童が多くいる中、苦手としている児童もいる読書活動を工夫することで、「本を読むことが面倒でおっくう。でも、いざ読んでみると楽しい」という経験を積み重ね、「楽しい」から始まる読書活動の手助けをしたいと考えた。

【国語の学習との関連】

- ・本の魅力を伝えるためのポップ作り
- ・物語の読みを深めるためのアニメーション
- ・並行読書への関心意欲を高めるブックトーク

【委員会活動】

- ・いろいろな本を楽しむための「ブックガチャ」
- ・図書委員からのおすすめの本紹介

【家庭・地域・公共図書館との連携】

- ・ファミリー読書の日
- ・ボランティア・教師による読み聞かせ
- ・調べ学習用団体貸し出しの利用・公共図書館

コロナ感染拡大防止のため、計画していた読書活動を工夫・変更しながら実施した。



読書感想文・感想画コンクール

○読書感想文 令和3年11月16日（火）

○読書感想画 令和4年 1月19日（水）

さいたま市立与野本町小学校にて、地区審査を経た優秀作品の中央審査会を行いました。別冊の優秀作品集『真珠』には、優秀作品とともに、審査結果・審査講評等を掲載しましたので、ご活用ください。

分科会発表（中学校・利用指導）

「国語科における利用指導の工夫

～主体的に情報を扱う生徒の育成～

越谷市立大相模中学校 中井 美穂 教諭

自分で知りたいことを自分で調べて学んでいく、そのための方法や姿勢を指導しておくことが、今後の学習にも良い効果をもたらすと考える。特に、図書資料では探しにくい新しい情報について、インターネットでの収集には注意が必要であり、どのような切り口で調べていくかを学ばせたい。

【調べたことを報告しよう】レポートにまとめる】

- ・課題探し
- ・パスファインダー
- ・市立図書館との連携
- ・「情報カード」の書き方

【「根拠を明確にして意見を書こう」意見文を書く】

- ・情報からテーマを探す
- ・問題意識をもって掘り下げる

他教科の授業でも学校図書館の活用を進めるようにマネージメントすることも司書教諭の役割だと感じている。新しい学習指導要領がスタートし指導の目標や方法が変わる今をチャンスととらえ、積極的に利用指導を進めていきたい。



～ 編集後記 ～

長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の中で、防止対策を図りながら、本年度の事業を実施しました。表彰式は開催できませんでしたが、本部役員・研究員等を中心とした一人一人の力が、今後の学校図書館教育の発展につながっていくと考えます。

令和5年の関東地区大会に向けて、研究の推進と各部の活動のさらなる改善が今後の課題です。来年度も、学校図書館教育の充実のため、各地区理事や研究員との綿密な連携・協力をお願いいたします。（研究部長 宮崎正子）